

## 「豪雨災害に関する意識」についてのアンケート集計結果

調査時期：平成21年1月

対象者：県政モニター 195人

回答数：172人（回収率88.2%）

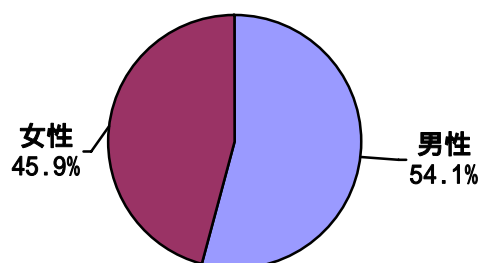
担当課：土木交通部 流域治水政策室

調査目的：県では、洪水に対して人命を守ることを第一に、いかなる洪水に対しても壊滅的な被害を防ぎ、そして被害をできるだけ少なくするため、これまでの川の中の対策だけでなく、川の外での対策を県民のみなさんと協働して実施していく「流域治水対策」を検討しているところです。

県民のみなさんの豪雨災害に関する意識等について把握し、今後の施策検討の参考とするためアンケート調査を実施しました。

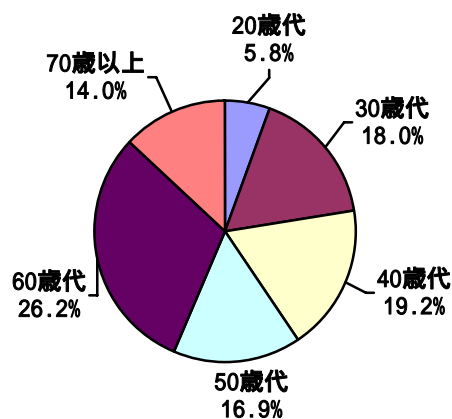
### 問1 あなたの性別を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
男性	93	54.1
女性	79	45.9
不明	0	0.0
合計	172	100



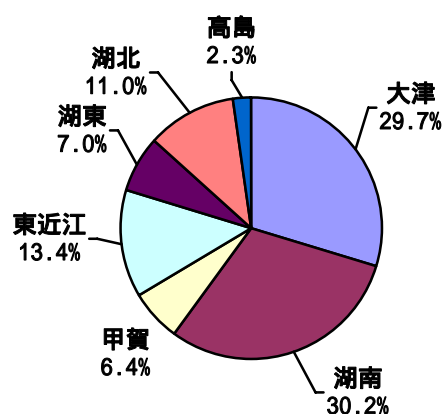
### 問2 あなたの年齢を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
20歳代	10	5.8
30歳代	31	18.0
40歳代	33	19.2
50歳代	29	16.9
60歳代	45	26.2
70歳以上	24	14.0
合計	172	100



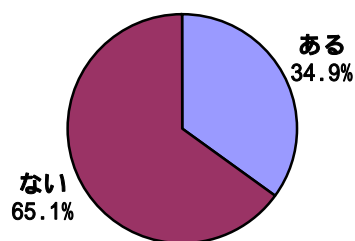
### 問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	51	29.7
湖南地域	52	30.2
甲賀地域	11	6.4
東近江地域	23	13.4
湖東地域	12	7.0
湖北地域	19	11.0
高島地域	4	2.3
合計	172	100



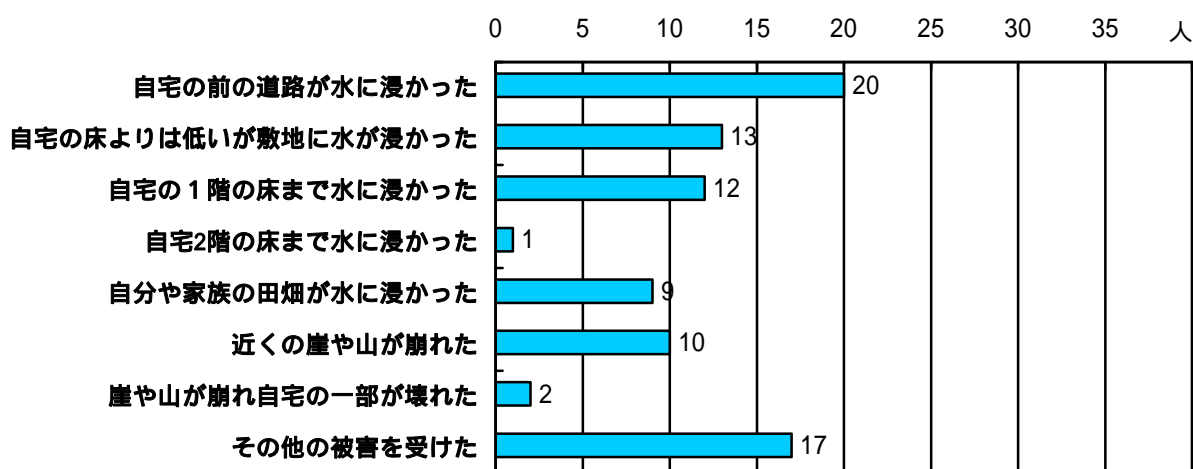
問4 あなたは過去に豪雨（台風を含む）によって被害を受けたり、危険を感じたりしたことはありますか。

項目	人数(人)	割合(%)
ある	60	34.9
ない	112	65.1
合計	172	100



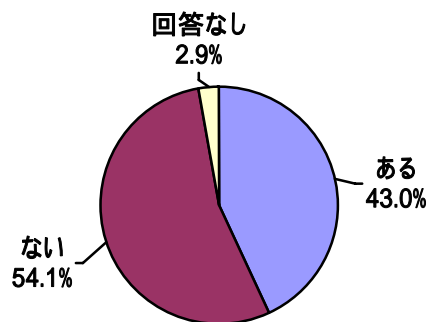
問5 問4で「ある」と回答された方にお聞きします。その時の状況はどのようなものでしたか。（はいくつでも）

項目	人数(人)	割合(%)
1. 自宅の前の道路が水に浸かった	20	33.3
2. 自宅の床よりは低い敷地に水が浸かった	13	21.7
3. 自宅の1階の床まで水に浸かった	12	20.0
4. 自宅2階の床まで水に浸かった	1	1.7
5. 自分や家族の田畑が水に浸かった	9	15.0
6. 近くの崖や山が崩れた	10	16.7
7. 崖や山が崩れ自宅の一部が壊れた	2	3.3
8. その他の被害を受けた	17	28.3



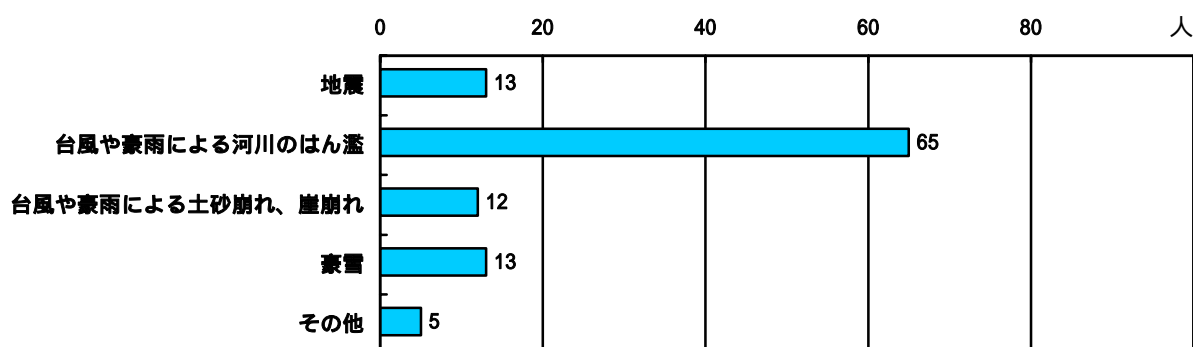
問6 あなたは今住んでおられる地域で起きた過去の自然災害（被害）の話を、人から聞かれたことはありますか。

項目	人数(人)	割合(%)
ある	74	43.0
ない	93	54.1
回答なし	5	2.9
合計	172	100



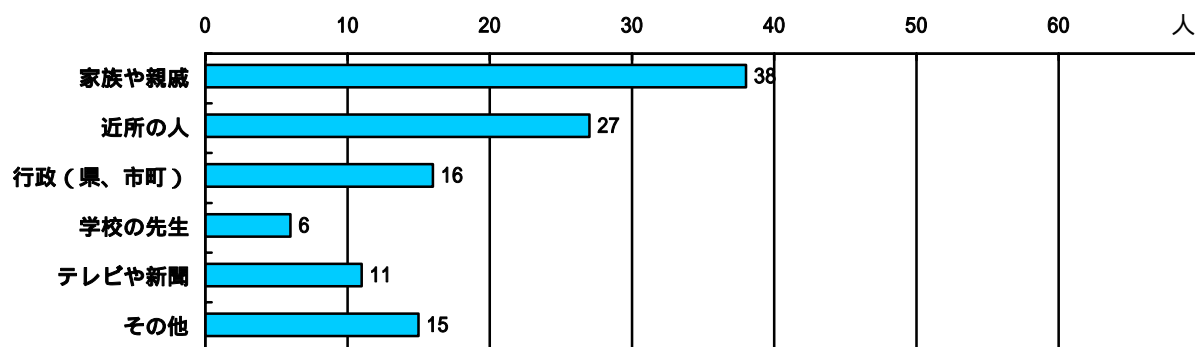
問7 問6で「ある」と回答された方にお聞きします。それはどのような自然災害でしたか。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
1.地震	13	17.6
2.台風や豪雨による河川のはん濫	65	87.8
3.台風や豪雨による土砂崩れ、崖崩れ	12	16.2
4.豪雪	13	17.6
5.その他	5	6.8



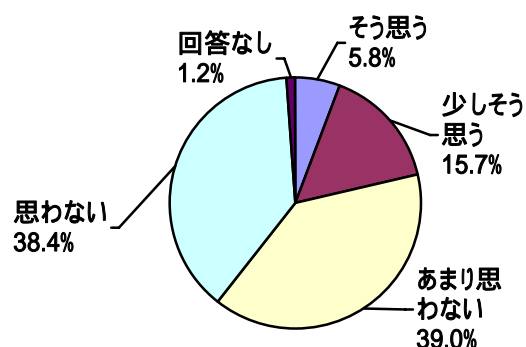
問8 問6で「ある」と回答された方にお聞きします。それは誰から聞かれた話ですか。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
1.家族や親戚	38	51.4
2.近所の人	27	36.5
3.行政(県、市町)	16	21.6
4.学校の先生	6	8.1
5.テレビや新聞	11	14.9
6.その他	15	20.3



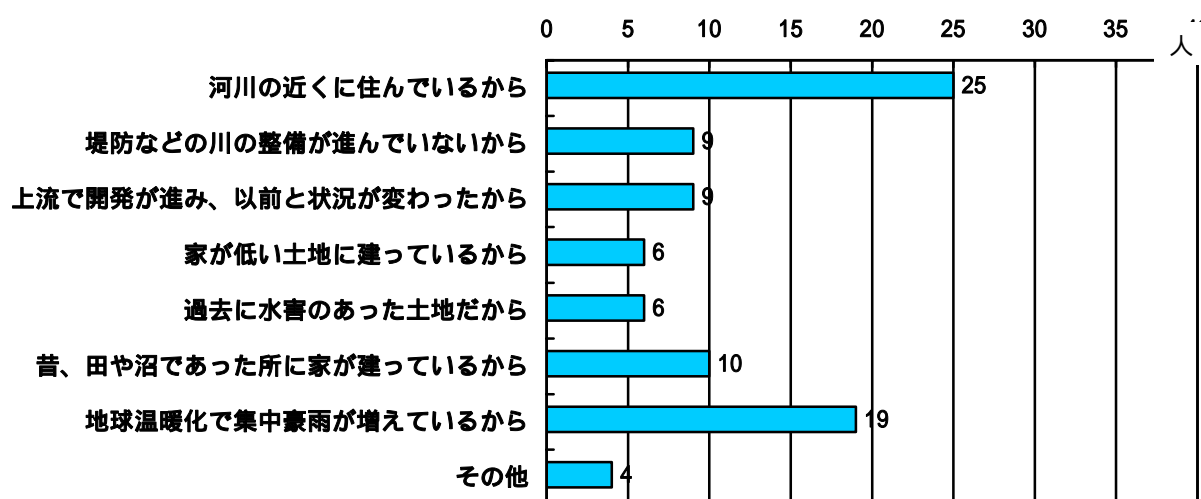
問9 あなたは、今お住まいの家が今後10年以内に洪水による被害を受けると思われますか。

項目	人数(人)	割合(%)
1. そう思う	10	5.8
2. 少しそう思う	27	15.7
3. あまり思わない	67	39.0
4. 思わない	66	38.4
回答なし	2	1.2
合計	172	100



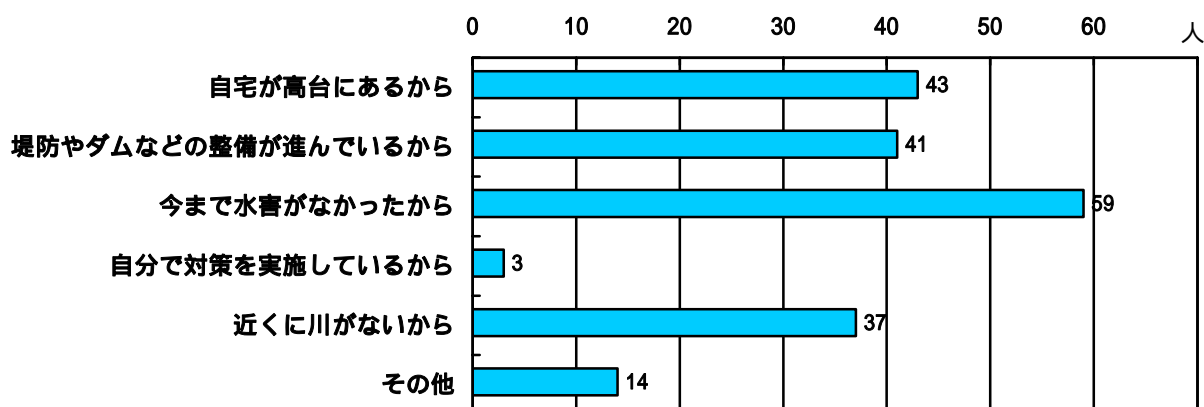
問10 問9で「そう思う」「少しそう思う」と回答された方にお聞きします。それはどのような理由からですか。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 河川の近くに住んでいるから	25	67.6
2. 堤防などの川の整備が進んでいないから	9	24.3
3. 上流で開発が進み、以前と状況が変わったから	9	24.3
4. 家が低い土地に建っているから	6	16.2
5. 過去に水害のあった土地だから	6	16.2
6. 昔、田や沼であった所に家が建っているから	10	27.0
7. 地球温暖化で集中豪雨が増えているから	19	51.4
8. その他	4	10.8



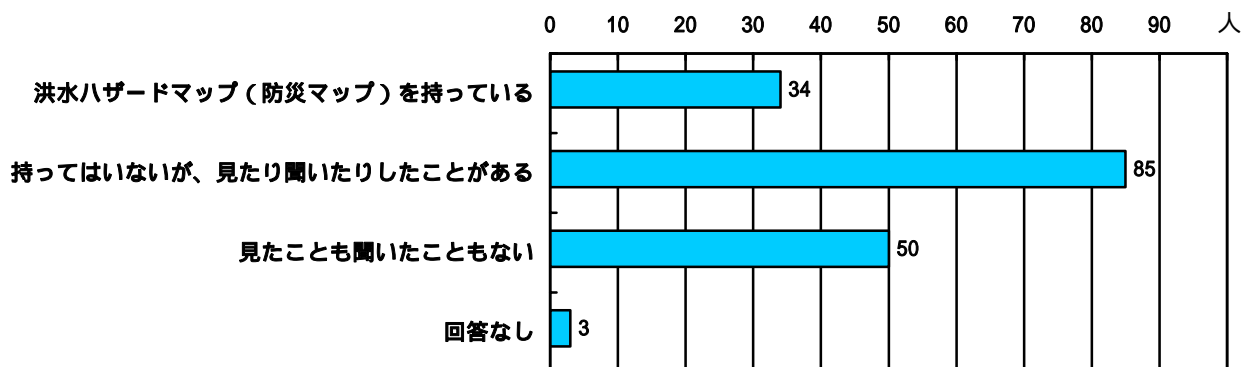
問 11 問 9 で「あまり思わない」「思わない」と回答された方にお聞きします。それはどのような理由からですか。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 自宅が高台にあるから	43	32.3
2. 堤防やダムなどの整備が進んでいるから	41	30.8
3. 今まで水害がなかったから	59	44.4
4. 自分で対策を実施しているから	3	2.3
5. 近くに川がないから	37	27.8
6. その他	14	10.5



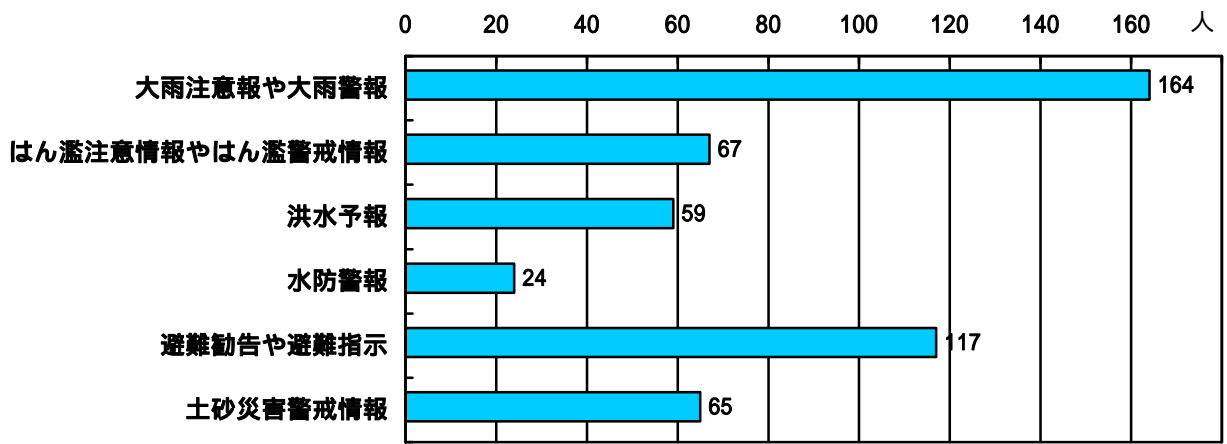
問 12 浸水が予想される区域を示すものとして、「浸水想定区域図」や「洪水ハザードマップ(防災マップ)」がありますが、あなたはこのような地図を見たり、聞いたりしたことがありますか。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 洪水ハザードマップ(防災マップ)を持っている	34	19.8
2. 持ってはいないが、見たり聞いたりしたことがある	85	49.4
3. 見たことも聞いたこともない	50	29.1
回答なし	3	1.7
合計	172	100



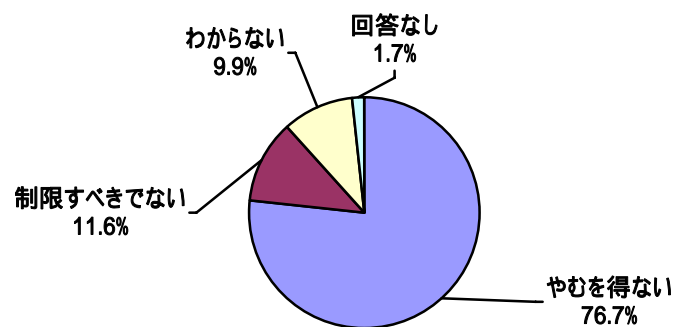
問 13 水害や土砂災害の発生する危険性が高くなった時に出る情報のうち、あなたが知っているものすべてに をしてください。

項目	人数(人)	割合(%)
1.大雨注意報や大雨警報	164	95.3
2.はん濫注意情報や、はん濫警戒情報	67	39.0
3.洪水予報	59	34.3
4.水防警報	24	14.0
5.避難勧告や避難指示	117	68.0
6.土砂災害警戒情報	65	37.8



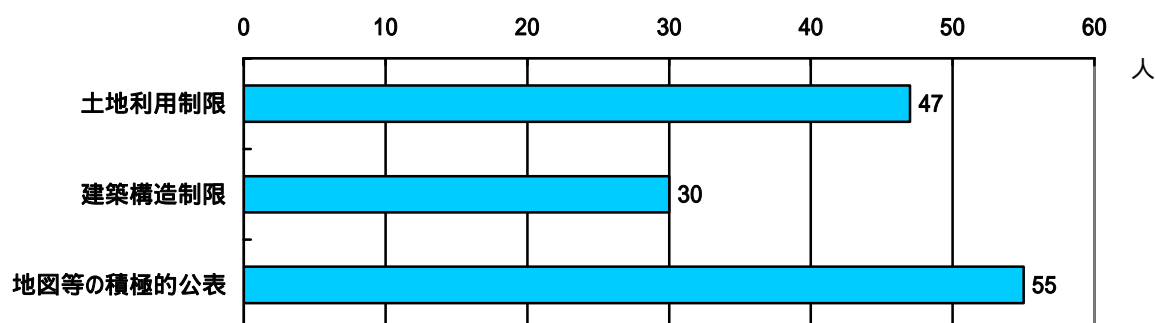
問 14 水害による被害をできるだけ少なくする方法として、上流の農地や森林の開発を制限したり、下流の低地に建物を建設しないよう制限することが考えられますが、あなたはこのような土地の利用制限についてどう思われますか。

項目	人数(人)	割合(%)
1.被害を少なくするための制限なら、やむを得ない	132	76.7
2.制限はすべきでない	20	11.6
3.わからない	17	9.9
回答なし	3	1.7
合計	172	100



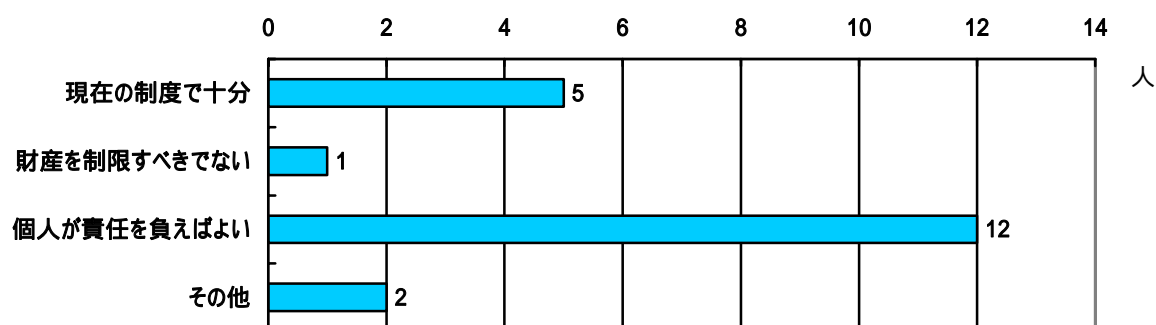
問 15 問 14で「やむを得ない」と回答された方にお聞きします。土地利用制限を強めるためにはどうしたらよいと思いますか。この中からあなたの考えに近いものを選んでください。

項 目	人数(人)	割合(%)
1. 水害の危険性に応じて土地利用を制限し、浸水の危険性が高い場所には住まないような制度を作る	47	35.6
2. 水害の危険性に応じて建築の構造を制限し、万一浸水したとしても被害が少なくなるような制度を作る	30	22.7
3. 水害の危険性が高い場所を示す地図などを積極的に公表することにより、危険性が高い場所に住まないよう土地利用を誘導する	55	41.7
合 計	132	100



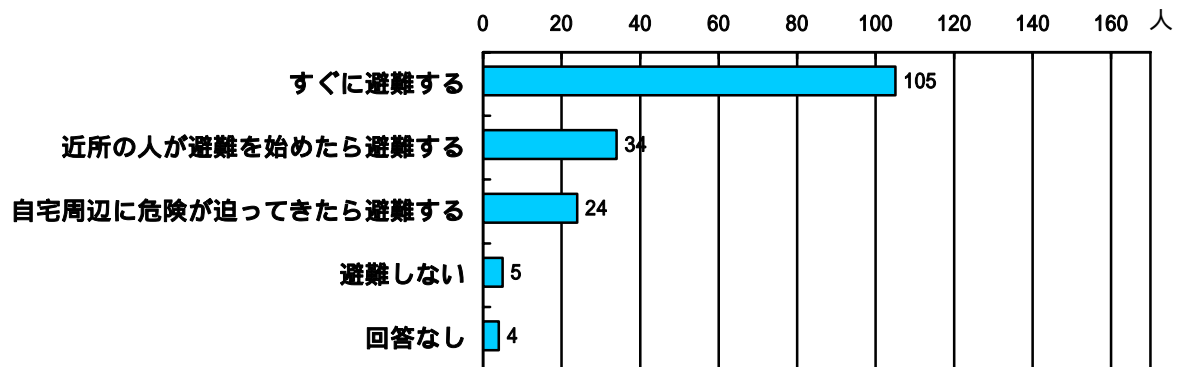
問 16 問 14で「規制はすべきではない」と回答された方にお聞きします。そのように思われる理由はなんですか。この中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。

項 目	人数(人)	割合(%)
1. 現在の制度で十分だから	5	25.0
2. 個人の財産を制限すべきでないから	1	5.0
3. 被災した場合でも個人が責任を負えばよいから	12	60.0
4. その他	2	10.0
合 計	20	100



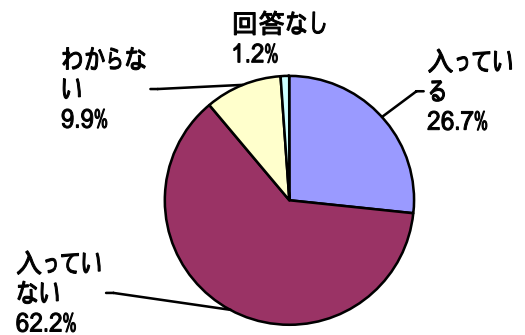
問 17 水害や土砂災害の危険性が高くなり、市町から避難勧告が出された場合、あなたはどのような行動をとると思われますか。この中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。

項目	人数(人)	割合(%)
1. すぐに避難する	105	61.0
2. 近所の人が始めたなら避難する	34	19.8
3. 自宅の周辺に危険が迫ってきたら避難する	24	14.0
4. 避難しない	5	2.9
回答なし	4	2.3
合計	172	100



問 18 あなたは水害や土砂災害に備えた保険（住宅総合保険等）に入られていますか。

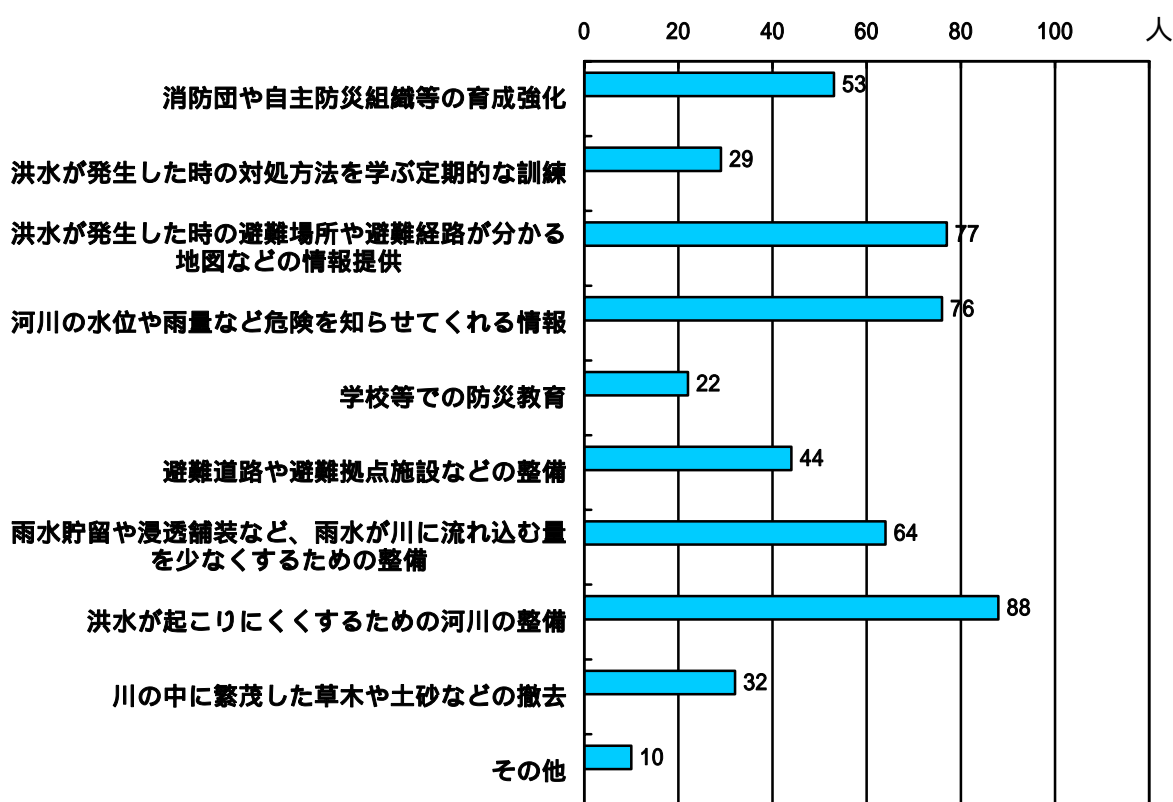
項目	人数(人)	割合(%)
1. 入っている	46	26.7
2. 入っていない	107	62.2
3. わからない	17	9.9
回答なし	2	1.2
合計	172	100





問 19 洪水から命や財産を守るため、あなたは県や市町の行政に対してどのような取り組みを望まれますか。重視して進めるべきだと考えるものを3つ選んでください。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 消防団や自主防災組織等の育成強化	53	30.8
2. 洪水が発生した時の対処方法を学ぶ定期的な訓練	39	22.7
3. 洪水が発生した時の避難場所や避難経路が分かる地図などの情報提供	77	44.8
4. 河川の水位や雨量など危険を知らせてくれる情報	76	44.2
5. 学校等での防災教育	22	12.8
6. 避難道路や避難拠点施設などの整備	44	25.6
7. 雨水貯留や浸透舗装など、雨水が川に流れ込む量を少なくするための整備	64	37.2
8. 洪水が起こりにくくするための河川の整備	88	51.2
9. 川の中に繁茂した草木や土砂などの撤去	32	18.6
10. その他	10	5.8



問 20 水害や土砂災害の被害を少なくするため、個人や地域ではどのようなことに留意する必要があると思いますか。意見があればお書きください。

(主な意見)

【個人で留意すること】

- ・ 予想される水害水位や、近くに土砂くずれ危険地区がないか知る。
- ・ 危険箇所（川の近くの低地など）に住宅等をつくらない。
- ・ 家族の居場所は常に把握しておく。
- ・ どこに避難待機すべきか想定しておく。
- ・ 防災意識の高揚や危険予知能力を養う。
- ・ 市町での訓練に参加する。
- ・ 日頃から近所の方との助け合いなどに心がける。
- ・ 持ち出し品の整理や備蓄。
- ・ 万一の事態に備えた保険加入。
- ・ 普段から気象情報を見ておく。

【地域で留意すること】

- ・ ハザードマップを作成し、避難経路の確認など訓練を定期的に行う。
- ・ 自助、共助の勉強会を定期的に行政の指導を受けながら実施する。
- ・ 子供、高齢者、一人暮らしの把握。
- ・ 消火訓練時に併せて水害、土砂災害訓練を実施する。
- ・ 情報伝達経路を明確にしておく。
- ・ 近所づきあいが少ないので、災害時における近所の連携訓練を実施する。
- ・ 河川周辺の自治会は、昭和40年代に実施していたように、雨季の前に川の中の草木を撤去する。
- ・ 避難場所や避難経路を複数考えておく。
- ・ 自治会に入りやすいよう徹底すべき。いざという時のために強制的に入会してもらうことも必要ではないか。
- ・ 企業とのつながりを持って、平日でも地域と助け合える組織づくりが大切。
- ・ 近くの河川と地域との高さ関係を知る。（防災訓練の時に話をする）

【その他】

- ・ 学校等で地区の危険地図等を作成し家庭に常備させる。
- ・ 川の整備理由の周知や、市町や住民が行うことを明確に提示してほしい。
- ・ あふれる場所を想定し住宅禁止地域にすべき。
- ・ 地域が安全であるのか知りたい。水害の経験がなくどのような対処が必要かわからない。どう動くべきか学ぶ機会があるとよい。
- ・ 山林の開発は最小限にする。
- ・ 早めの避難勧告が必要。
- ・ 学校での防災教育が必要。
- ・ 浸水しやすい地区の地図などを毎年広報などで公開して住民に知らせる。
- ・ 被害を受けた地域の対応状況を知りたい。